

Happy Project × 高校生

= Hino・Quest

武生東高校生全員で、

地域課題を掘り出し地域の多様な人と繋がり、
高校生視点からの

『地域のHappy』

(課題解決策の立案・実践)

を生み出します。



都道府県別

魅力度ランキングは44位だけど
幸福度ランキングは1位なのはなぜ？

越前市の課題は越前市だけの問題？
解決策はナイのかな？

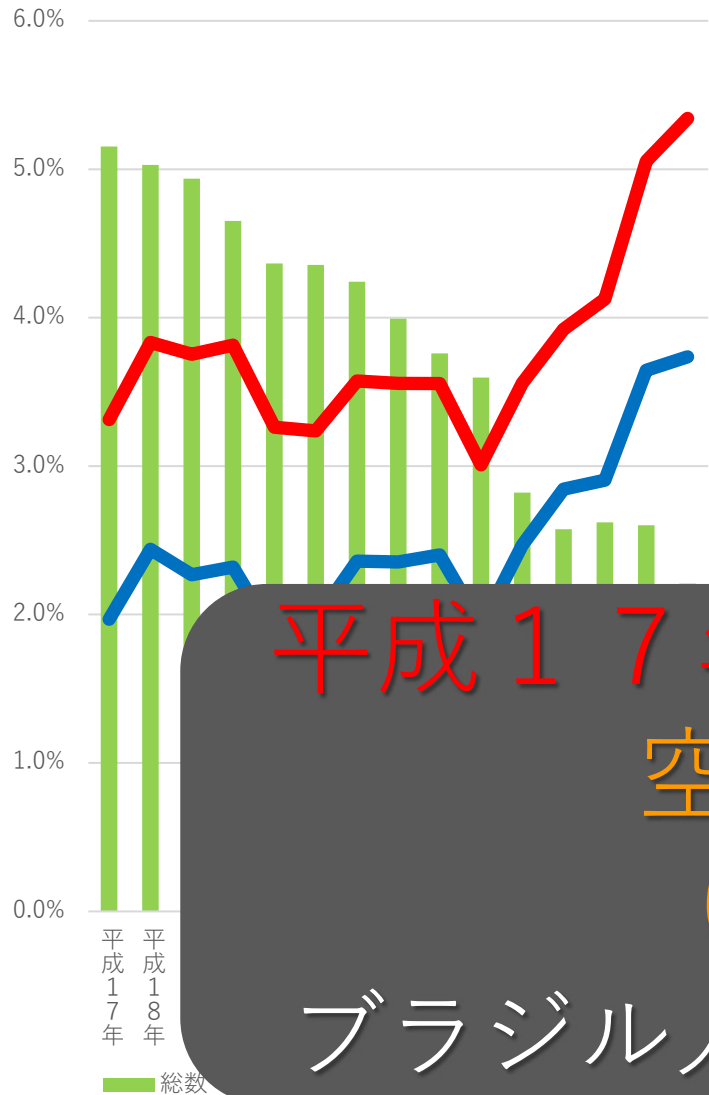
高校生の視線で
私たちの“ふるさと”を捉え直したい

県下初の国際科を併設し、独自の学習プログラムをもつ
武生東高校だからできる取組があるはず！



越前市の現状

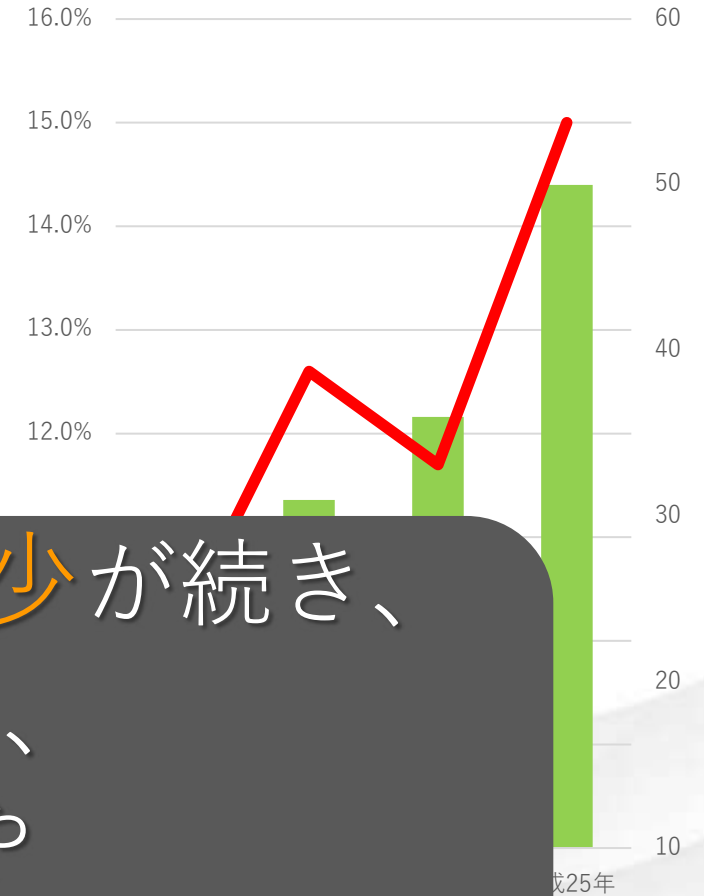
越前市人口と外国人の割合



年齢構成の変化



空き家総数および
空き家率の推移



平成17年をピークに人口減少が続き、
空き家が増えていく中、
60歳以上の高齢者や
ブラジル人をはじめとする外国人は激増

2019年度入学生(現2年生)190名(全生徒)が

2年間かけて実践した地域課題探究プロジェクト

Hino・Quest



1年目:

個人研究

- ・高校生視線で細やかな情報収集
市役所18課への個別質問
現場の声を拾うフィールドワーク
- ・190の意見をまとめた

『Happy作戦集』の発行

2年目:

グループ研究

- ・個人研究を昇華させ

協働で課題解決策を提案・実践

(チーム提案…計70プラン)

都市開発、交通、街づくり、観光、福祉、医療、
高齢者対策、自然、農業、教育、国際理解等

課題解決策の提案・実践例(その1)

《Traveling Together from the Starting Point Of Differences ! 》

=課題=

ブラジル人児童は、市全体の小学生の**約3%**。外国籍の子ども達の日本語力に対応した教育環境が十分に整っているとは言えず、高校進学時に大きな負担。現在の外国籍生徒の教育の現状は、別室でのアクセスワーカーによる個別授業は「算数」と「理科」、「国語」「社会」「道徳」の時間は日本語学習の時間に活用、特に**「社会」など高学年から始める教科の理解ができておらず、高校受験対策に支障あり。**

=対応策の提案=

「社会」は社会生活を営む上での基本知識の習得のためにも重要な科目でもあり、**「社会」のポルトガル語での教材作成**実施し、各小学校へ配布する。

(活動の流れ)

2020年12月…教材の翻訳活動

ブラジル国籍の市で通訳ボランティアをしている
本校保護者に監修を依頼

2021年02月…教材としてまとめ作業(製本またはプリント集を検討中)

2021年03月…越前市教育委員会に提示



課題解決策の提案・実践例(その2)

《高齢者の体を健康に「コロナに負けるな体操」の開発》

=課題=

ディサービス実施事業所へのフィールドワークから、高齢者の方が**集団で運動することでやる気がでて効果がアップ**すること、筋力を衰えさせないようにし、フレイル予防が重要であると知る。しかし、コロナ禍で**自由にディサービスに行けない**ことも多い。

=対応策の提案=

在宅でもできる簡単な体操を高齢者の方に届ける。そのために、QRコードつきチラシを作成し、ガラケーでもアクセスできるようにする。また、情報機器を苦手とする人のためにDVDにし、地域の公民館などで貸し出しや活用できるシステムを構築する。

(活動の流れ)

2021年01月…体操案完成(理学療法士による監修あり)

2021年02月…動画作成・チラシ印刷

2021年03月…越前市内公民館・図書館などでのチラシ配布
越前市広報誌への掲載依頼



私たちの活動を継続し、 地域活性につなげるために……

2019年度入学生

1年「個人研究」⇒2年「グループ研究」



2020年度入学生

1年「個人研究」「グループ研究」

2020年度
入学生
2年

2021年3月：2年グループ研究報告会およびポスターセッション

1年生(2020入学生)も参加し、自分の個人研究と繋がる

先輩達(2019入学生)のグループ研究テーマについて学ぶ時間を設定

そして
より広い視点で
地域活性を
考えるために
海外の高校生との
意見交換会を
実施します

世界各国の高校生が考える
豊かさ 幸せ 未来 とは…

- ✓ 高齢者の住みやすさ
- ✓ 地域活性化の視点から
- ✓ 自然保護・環境保全
- ✓ 多文化共生

高校生ワールド
ハルビド
フォーラム
in
えちぜん

2021年
日時 9/11(土)・12(日)
会場 ふくい農業ビジネスセンター
福井県立武生東高等学校
定員 国内参加者 30名
海外参加者 30名

